

やまばと通信

多摩市立図書館 情報誌

2009年
7月 発行

178号

主な記事

1 P 「ご意見申し隊！募集します」
2 P 「本館日和」新館長挨拶
「本館の試行延長について」
アンケートのお願い

3 P 「海を感じる本」

4 P 「図書館日和」行政資料室
「CDケースのご寄贈」
「蔵書点検終了のお知らせ」
ありがとうございます



「ご意見申し隊！」

募集します!!

「図書館かくあるべし！」

愛ある？苦言を大募集します！
図書館長にガンガン言って、
皆さん同士でガシガシ言い合っ
てみませんか？

【主なお題】

* 本館・夏季限定試行延長

〜評価する？しない？〜

* なつとらん！図書館職員！

* なつとらん！利用マナー！

【日時・場所】

8月11日（火）午後5時〜7時

多摩市立図書館本館・講座室

【申込方法】

* 図書館窓口で用紙に記入

* お電話（本館・TEL 373-7955

平日午前10時〜午後5時）

【申込期限】7月31日（金）

ご参加の可否は8月の第1週に
連絡いたします。尚、大変申し訳
ありませんが、謝礼・交通費は
出ませんのでご了承ください。

多摩市立図書館

〒206-0033 多摩市落合2-29

(電話)042-373-7955

(FAX)042-375-9459

図書館ホームページアドレス <http://www.library.tama.tokyo.jp/>
携帯電話アドレス <http://www.library.tama.tokyo.jp/i/>



本館日和

安全な図書館をめざして

はじめまして。4月から多摩市立図書館長に就任した片岡と申します。

平成20年に旧西落合中学校跡地に移転した図書館・本館の、元理科室に館長席があります。全国的にもとても賢かったと評判の生徒さんがここで人体模型を見ていたと思うと、私も多少は賢くなる気がします。ご挨拶にかえて、本館のある日の光景をご紹介します。

ざわわ、ざわわ、ざわわ。

その日の夕暮れ、職員のA子は、生い茂った夏草の中でうずくまり、青い空を見上げていた。中学校の統合でこの建物が無人となってから数年たち、図書館が移転したときには虫と鳥の天国になっていた。もしかしてタヌキも。貴重な自然との共存を目指しつつ、利用者の安全を守るためには相容れないものもあった。

トックリバチ。

大人の握りこぶし大の巣の中では、せっせと子育てが営まれていた。ドロバチ科の蜂は、めつたに人は刺さない。が、子どもがつかんで刺されたら？その子がアレルギーだったら？蜂の身とすれば人間こそ新参者だが、職員は利用者の安全を優先させなければならない。

市役所・みどりと環境課に相談すると、渡されたのは殺虫剤入りの噴霧器と「がんばれ！」の言葉。B男は言った。

「高価な殺虫剤を無駄にはできない。確実に女王蜂が戻るのを待とう。」

そこで2人の討伐隊は空を見上げて待った。

ざわわ、ざわわ、ざわわ。

A子は思った。大戦中の沖繩の住民もこんな気持ちだっただろうか。揺れるさとうきび畑。あくまで穏やかな青い空。しかしひとたび敵機が来襲すれば、この空は戦闘で覆われるのだ。

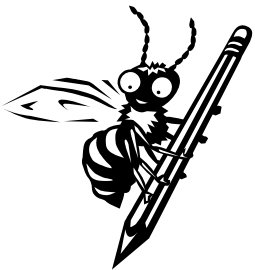
...

そのころ職員S子は、職員休憩室から外を見下ろしていた。麦わら帽、軍手、手ぬぐいで完全防備したA子は、どちらかというどベトナムの農民兵。そしてその向こう、体育館の裏に見えるのは、人目をしのでキスをしている学生らしきカップルなのであった。

A子とB男の勇ましい闘いの成果は、本館・児童室の昆虫のコーナーに展示されています。他にも、本気で怖いスズメバチとの闘いなど、職員は読書環境と利用者の安全を守るため日々活動しています。

最後にひとこと、若い方たちに申し上げます。

「あなたたち、その場所、丸見えですから。」



図書館・本館の試行延長について アンケートにご協力をお願いします

この夏、本館では試行として開館時間の延長を行なっています。

【施行期間】 8月31日(月)までの平日

【開館時間】 午前9時30分～午後7時

(午後6時から1時間延長)

是非ご利用いただき、ご意見・ご感想をお聞かせください。

お寄せいただいたアンケートは、今後の運営の参考とさせていただきます。

また一部のご意見については、図書館のホームページ等で紹介させていただくことがあります。

平成20年度に実施した、開館日・開館時間に関するアンケート調査結果のまとめは、図書館ホームページでご覧いただけます。

トップページその他のトピックス

<http://www.library.tama.tokyo.jp/topix.html#tp15>

海を感じる本

梅雨の季節が終わって、

いよいよ本格的な夏が

やってきました。

夏といえば、海。

太陽のまぶしい光に輝く海。

日が沈んだ後、残光の美しいマジックアワー。

夜明け前のブルーアワー。

様々な海の光が人々の心をとらえたように、

多くの作家や写真家が海をテーマにした本を

残しています。

たとえば、幻想的な海と海洋生物の世界を魅せてくれる写真集

『今日は海曜日』 福田幸広著

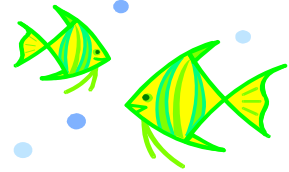
深海に沈むリボートの謎に挑む男たちの物語

『シャドウ・ダイバー』 ロバート・カーソン著

子供から大人まで心の中の海を見つけることができる

『ともだちは海のおい』 工藤直子著
などなど。

今年の夏は、ぜひ海を感じる本を手にとってみてください。



『ドルフィン・ドリーム「イルカと泳いだ海」』
中村庸夫著 KKベストセラーズ 1994

そろそろ暑くなります。「海に行きたいな…」
と思ったらこの写真集を開いてください。

とにかく海が美しい！上から光がさしている
海、どこまでも青く澄んでいる海、しぶきをあげ
る海…。そして、かわいいイルカたち。のびのび
と泳ぎ、跳ねています。本を開けばたちまち海で
泳いでいるような気持ちにさせてくれます。こん
なきれいな海を人間のエゴで汚してはいけない、
という気持ちにもさせられます。忙しくて今年は
海にいけないかも、という方も必見です。

『海』 小川洋子著 新潮社 2009

タイトル作品の「海」は淡々とした物語です。
どこにでもあるかすかなズレが描かれています。
登場人物のバックグラウンドの紹介はありません。
あるカップルが女性の実家に結婚の挨拶に向
かうところから始まります。その女性と家族の、
繊細かつ豪胆な姿を男性は懸命に受け入れよう
とします。特別なことはしていません。特殊な能
力もなく、どこにでもいるような普通の青年です。
結末は読者にゆだねられています。『海』と
いうタイトルの大きな意味を知ったときにこの
物語が深く深く残ることでしょう。

『湘南 海光る窓』

城山三郎著

文藝春秋 1989



『官僚たちの夏』『黄金の日々』『落日燃ゆ』そ
うか、もう君はいないのか』等、多くの著作で有
名な城山三郎氏は、小説で新人賞（文学界新人賞）
をとった事から創作者として「有名」になる危険
から逃れるため、都会から海辺の田舎町に越して
きます。

ある時、氏は、執筆中に「海が光る」ことを知
り茫然とします。「黄金の小さな一片が胸に飛び
こみ、理由もないのに胸の中があたたかく濡れて
いくのを感じた」と。

ひとりの「無名」を求めた「有名」な作家が、
しばしの腰掛けのつもりで暮らした海辺の町で
名もなきひとりの人として自分を見つめなおし、
翌年その町で直木賞受賞作を生み出します。

図書館では、海の底に暮らす貝の様に静かに書
庫に眠っていた本ですが、氏がその後の人生の最
後を閉じるまで暮らすことになる海と、その町を
愛情あふれる視点で描いていて、読む人が何故か
なつかしさとあたたかさで包まれるエッセイ集
です。

あなたの今年の夏の1冊にいかがでしょうか。

「図書館日和」 つよこ

「役に立つ「行政資料室」を目指して」

行政資料室をご存知ですか？

行政資料室は、東京都、

多摩市及び多摩地区市町村に

関する行政資料を取り揃え、提供する窓口です。

平成20年3月31日に、旧・図書館本館の行政・

郷土資料コーナーが独立し、新しく行政資料室として開館しました。



議会、福祉、環境、教育関係、他に予算・決算、税、施策、統計、歴史、新聞記事など1万2千点を超える資料を揃えています。

資料の貸出や返却、リクエストの受付だけでなく、行政に関するさまざまなお問い合わせにお答えしています。

室内は明るく整理されており、行政資料を閲覧する机も備えています。是非ご利用ください。

【場所】

市役所東側・第二庁舎 1階

【開館日・開館時間】

月曜日から金曜日（土日・祝祭日は休館）

午前8時30分～午後5時まで

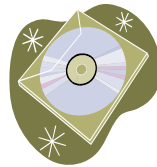
CDケースの寄贈ありがとうございます

前号のやまばと通信で、CDケースのご寄贈をお願いした所、何人の方が次々と持って来てくださいました。（なんと、百円ショップで買ってくださいった方も！）本当に有り難うございました。図書館では今後も破損したケースを入れ替えてゆきます。CDケースがご不要になった際は、是非ご寄贈をお願いいたします。

蔵書点検終了のお知らせ

「ご協力ありがとうございました」

5月末から6月上旬にかけて、蔵書点検を行なっていました。2館ずつ5日間休館しての点検となりました。休館中はご迷惑をおかけいたしました。あわせてご協力を頂き、有り難うございました。3月末時点で多摩市の図書館には約73万冊の蔵書があり、そのうち今回不明資料となったのは1280点でした。一方で、紛失していた貴重な資料（美術書など）が何点も発見され、棚の整理も行なうことが出来ました。資料を本来あるべき場所に戻し、棚に見当たらない資料を明らかにすることで皆様にスムーズに資料を提供できるように努めています。今後とも気持ちよく利用頂ける図書館を目指してまいりますので、よろしく願います。



エコロくんからのお願い

最近、ライター・スプレー缶・カセット式ガスボンベが燃やせないごみ（ピンク）の中に混ざっており、収集車の火災事故が発生しているんだ。必ず、有害性ごみで出してね！



☆ごみ収集車の火災事故は、昨年4月から4件発生しております。原因は、ピンクの有料指定袋の中に混入されているガスライターやスプレー缶が、収集車のなかで圧縮され火災事故になると思われます。ガスライター・スプレー缶・カセット式ガスボンベなどは、必ず有害性ごみとして出して下さい。